

令和6年度第3回学校運営協議会 報告書

- 1 目的 道立学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、保護者及び地域住民等が学校運営に参画し学校との連携を強めることにより、学校と保護者及び地域住民等が信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善並びに生徒の健全育成を図ることを目的とする。
- 2 日時 令和7年2月26日（水）16:00～17:30
- 3 場所 北海道津別高等学校 多目的教室
- 4 出席者〈学校運営協議会委員 敬称略〉

上野真司(※1)	校長 太田徹
河本純吾(※1)	教頭 山崎辰也
立川彰(※1)	教諭 小堀健介
柏葉宏樹(※2) (欠席)	上田弘恵
長瀬加寿哉(※2)	平子裕
佐藤久哉(※3)	
石川波江(※4) (欠席)	注) (※1) 地域住民
迫田久(※4)	(※2) 生徒の保護者
保科浩則(※6) (欠席)	(※3) 運営に資する活動を行う者
森本邦紀(※6)	(※4) 行政機関の職員
	(※6) 学識経験者
- 5 議事
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 校長挨拶
 - (3) 報告 令和6年度事業報告について
 - (4) 説明 令和6年度学校評価について
 - (5) 熟議 各部会意見交換・各部会別報告
 - (6) その他 次年度の委員について
校長よりお礼
- 6 熟議内容
 - 【生活部会】
 - ・奉仕活動を単なるごみ清掃で終わらせずに、他部会や小中の動きとタイアップする。
 - ・学校行事を自然学習と組み合わせる。
 - ・街で高校生を見なくなった。
 - ・ネットリテラシーの指導が必要。
 - 【学習部会】
 - ・検定の合格者に景品を出す。
 - ・多様なカリキュラムを理解してもらう。発信はしているが受け取ってもらえているか。
 - ・企業職種説明会をインターンシップにつなげられると良い。
 - ・小中から高校に何かをやって欲しいというのは言いにくい。高校から提案してくれると良いのだが。
 - ・地域の先生を作って、保護者も含めて学習する機会を設ける。
 - ・学習の成果発表会をもっとやった方が良い。保護者以外の外部にも発信を。
 - 【進路部会】
 - ・企業職種説明会への参加企業とのつながりを広げる。
 - ・普通科高校の津別高校に進路として何が求められているか。大学も総合型選抜などが入ってきており、今後は多様な学習活動等の成果を活かした「人間力」の育成が求められているのでは。
- 7 その他 委員の任期は規則で2年（再任を妨げない）と定められており、異動等の事情が無い限り、次年度も継続ということで確認した。

